

東京2020オリンピック・パラリンピックを地元で盛り上げるため、平成30年度から「オリンピック・パラリンピック関連ワーキンググループ」を立ち上げ、気運醸成を図るために様々な取組みを行ってきました。

☆令和2年度までの活動☆

《平成30年度》

セーリングW杯の視察、セーリング競技元オリンピックの牧野幸雄氏を招いての地区集会開催

《令和元年度》

片瀬地区に住む小学生のセーリングW杯の見学

※昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止

☆今年度の活動☆

無観客での開催を受け、「ふじキュンパネル」を制作し、競技当日の予定や前日のレース結果をパネルに掲示し、片瀬市民センターを訪れる多くの市民にPRしました。

また、10月23日に市が主催し、江の島ヨットハウスで開催された「かたせシティキャストフジサワ交流会」に向けた準備や当日の運営に協力しました。

交流会では、片瀬地区在住の14名のシティキャストが参加し、シティキャストになろうとしたきっかけや、活動したいボランティア活動など、和やかな雰囲気の中で、交流が深められました。また、片瀬地区の地域活動が紹介され、シティキャストの皆さんに片瀬地区の魅力が伝わりました。

☆活動のまとめ☆

大会が無観客での開催となり、当初ワーキンググループを立ち上げた目的と結果が異なりましたが、片瀬地区に在住する14人のシティキャストの交流が深まり、ワーキンググループとしての役割を果たすことができました。



ふじキュン♡がセーリング競技の情報を提供！



かたせシティキャストフジサワ交流会の様子



弁天橋の花壇の雑草取りの様子

4 その他活動の支援

「緑と花いっぱい推進活動事業」として、観光地である江の島の入り口の景観確保や防犯、環境浄化の観点から、弁天橋の花壇への花植えや水やり等の活動への支援を行いました。

令和3年度の活動結果を報告します！

今年度は、昨年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大の影響により地域活動が停滞する中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、面白い話題もありました。

協議会では、地区集会の開催をはじめ、4部会による6事業の展開、弁天橋の花植え活動の支援、平成30年度から地域課題として取り組んでいるオリパラワーキンググループの活動について、皆様の多大なるご理解とご協力をいただき、無事終了することができました。

今回は、令和3年度の活動報告と、今後の展開についてご紹介いたします。



『ブルーフラッグ』  
撮影：永由 勝（片瀬・江の島まちづくり協議会委員）

1 地区集会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、片瀬地区の皆様の安全と健康を考慮し、令和2年度の地区集会をやむを得ず中止いたしました。

前年度の経験から、コロナ禍でも地域のつながりを途絶えさせてはいけないと、地区集会実施に向け検討を続け、オンライン配信等の新しい手法を取り入れ新たな地区集会の開催を企画し、昨年11月23日（水・祝）、本年2月23日（水・祝）にそれぞれ開催することができました。詳しくは、NO. 4 1 地区集会特集号をご覧ください

～第1回地区集会～

神奈川県が作成した「災害 その時を生きるために 津波編」を上映しました。神奈川県内を舞台にした映像で、津波の危険性や避難行動について再確認しました。



津波避難に関するYoutube動画上映

「片瀬地区の防災を考える」をテーマに、一般財団法人アジア防災センター理事長の小川雄二郎氏と片瀬地区自主防災協議会会長の中島尚之氏からそれぞれご講演いただきました。



講師 左：中島氏、右：小川氏

～第2回地区集会～

「まちづくり協議会 令和2・3年度2年間の活動報告」をいたしました。協議会全体の活動報告後、各部会や、地域課題の「オリパラワーキンググループの活動」の報告をいたしました。



協議会活動報告の様子

「地域の祭りの話を聞いて、片瀬・江の島地区の魅力をもっと知ろう！」をテーマに、江の島・藤沢ガイドクラブの鈴木健之氏から片瀬・江の島地区の祭りの話を中心に地域の魅力についてお話しいただきました。



講師 鈴木氏

令和2・3年度 片瀬・江の島まちづくり協議会(片瀬地区郷土づくり推進会議)役員・委員名簿

(敬称略、順不同)

役職	氏名	選出母体等	氏名	選出母体等	氏名	選出母体等
会長	畠山 義昭	片瀬地区自治町内会連絡協議会	飯森 美智代	片瀬地区交通安全対策協議会	阪井 久江	片瀬-市民スポーツの会
副会長	渋谷 晴子	片瀬地区社会福祉協議会	吉見 美江	片瀬地区子ども会連絡会	金子 皓	片瀬地区商店会
副会長	三鶯 由見子	片瀬地区青少年育成協会	村越 てる美	片瀬地区生活環境協議会	秋岡 伸一※	江の島振興連絡協議会
副会長	渋谷 宏美	公募	徳江 紀子	片瀬地区青少年支援フォーラム	桐生 留美子	公募
副会長	甘粕 寿一	片瀬地区自主防災協議会	大館 奈緒美	片瀬地区民生委員児童委員協議会	笹岡 正之	公募
			小川 政子		高野 由美子	公募
			甘粕 勇二	片瀬地区防犯協会	永由 勝	公募
			依藤 光雄	片瀬地区老人クラブ連合会	福島 規恵	公募

※秋岡委員は任期途中で逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。



## 2 部会活動報告

### ① ボランティアセンター事業

地域の福祉活動の拠点として、赤ちゃんから高齢者まで、誰もが気軽に立ち寄れる「居場所ひだまり」を開催しています。

子育て支援のための「かたせ・にこにこ広場」では、乳幼児と保護者のフリースペースとして開放するとともに、交流の場を提供し、親子で気軽に参加できるイベントを開催しています。

また、毎月第2水曜日にミニ講座を開催し、遠出のしにくい環境の中、様々な企画で気軽にお越しいただける場を提供しました。



ボランティアセンター事業「ミニ講座」の様子

### ② まちかど相談事業

誰もが安心して暮らし続けられるように、ボランティアセンターで様々な相談を受けています。

子育て相談は、臨床心理士が子どもの発達などについて相談を受けました。また、高齢者相談では、片瀬いきいきサポートセンターと鶴生園の相談員が、ご家族や介護者の方の、日常生活における相談を行っています。（第1、3、5水曜日の午前・午後と第2、4水曜日午前）

コミュニティーソーシャルワーカー（CSW）は、毎月第2、4水曜日の午後から相談を受けています。不安や悩みを一人で抱えることがないように、気軽に相談できる場を提供しました。



臨床心理士



高齢者相談員

### ③ 青少年健全育成事業

コロナ禍により、青少年の活動はオンライン等を通じた体験が増え、直接人と人が接する活動の機会が消失し、体験や学びの機会が全体的に減少している現状を課題として捉えています。

課題解決を図るため、今年度、片瀬地区の青少年事業実施団体による「子ども関係団体による意見交換会」を実施し、それぞれの団体の強みを生かし、連携して事業を実施することの重要性を確認するとともに、地域で活動されている協力者からの意見を伺うことで、今後の活動に向けたヒントを得ることができました。

公民館と地域団体が連携した新規事業について話し合うことができたことや、参加者から子どもたちが主体の事業提案があったことにより、意見交換会の成果を確認しました。

これらを踏まえ、次年度以降も継続的な意見交換の場の提供及び課題解決のサポートに取り組んでいきます。



青少年事業実施団体による「子ども関係団体による意見交換会」の様子

## II. 青少年健全育成部会

## I. ボランティアセンター運営委員会

## III. 人材・情報バンクセンター運営委員会

## IV. 郷土文化推進部会

### ④ 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

地域情報の発信や、ボランティア活動のニーズに応え、地域活動の活性化に取り組むために、3人のコーディネーターを中心に、市民センター内に人材・情報バンクセンター（JJBC）を開設し、様々な相談への対応、地域のボランティア活動のコーディネートを行っています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により活動が制限され、相談件数、マッチング件数がいずれも減少していることを課題と捉え、市民が気軽に地域活動に参加することができるきっかけづくりを重点に事業を展開しました。

JJBCに登録する12の地域ボランティア活動の見学・体験が気軽にできる「地域活動見学＆ボランティア体験会」を初めて開催し、ボランティア活動を始めるためのきっかけを提供できたことが大きな成果です。

次年度も引き続き地域のボランティア活動を見学・体験できる活動を継続していきます。



JJBCコーディネーター



地域活動見学＆ボランティア体験会の様子

### ⑤ 江の島道整備事業

江の島道整備事業の成果として、旧江の島道の道標や寺社仏閣、史跡などを紹介し、片瀬の魅力が一目で分かり、まち歩きに利用できる「片瀬歴史マップ」を作成しました。

昨年度は、藤沢橋から龍口寺までの間を旧江の島道に沿って歩き候補地を確認し、今年度は、写真の撮影や記事をまとめ完成しました。

今後はこのマップを活用し、公民館などの関係機関と連携した事業を検討するなど、片瀬の歴史的魅力を次世代につなげるよう活動していきます。



### ⑥ 民俗文化財等継承事業

藤沢市無形民俗文化財である「片瀬餅つき唄」や、伝統玩具の「片瀬こま」など、地域ゆかりの民俗文化財の継承活動を支援しています。

片瀬餅つき唄保存会は、例年、諏訪神社例大祭やふれあいまつりなどで餅つき唄を披露していましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から祭典などが中止となったことで、活動の支援ができませんでした。次年度は保存会の現状や課題を共有し、どのような活動支援ができるか検討していきます。

また、片瀬こま保存会は、事業規模を縮小し年間を通して多くのイベントが開催されたことから、継続した活動支援を行うことができました。今後も片瀬こまの魅力の発信や担い手の発掘に繋がるよう、支援を続けていきます。



上：片瀬こまミニ大会  
下：体験講座での片瀬こま紹介